

「どう生きるか」から考えるACP

最終回

十人十色の ACPを目指して

ACPについて、2021年8月号より16回にわたって掲載してきましたが、今回でいったん、このシリーズを終わります。お読みいただき、ありがとうございました。十人十色のACPについて、引き続き一緒に考えていきましょう。

ACPは、人生の最期を目前にした「終末期」

の医療について決めておくことだと思っ... 幅広い意味合いを含んでいることを、みなさんとこのシリーズのなかで、考えることができたように思います。

あくまで基本となるのは「自分が何を大切にしたいのか」を考えたことではないでしょうか。医療や介護が必要になった時にどのように病気と向き合うのか?どのようなケアを受けたいのか? 終末期にはどのような治療を望むのか? 自分事として考える延長線上にあるのが「医療やケアのあ



にある価値観や人生観を共有できているか」というのもなかなか難しいのが正直な思いです。加えて制度や政策、経済的問題など多くの課題が現実には存在し、話し合っただけでは解決すべからず、解決するものでもありません。

これまでのACPの連載は、いろいろな観点から考えてもらう情報を提供しただけにすぎません。話し合いのタイムイングだつて、十人十色ですもんね。

T (Tigra) ... お風呂のお湯ひとつにしても、現実的には地域差や施設の運用に違いがあり

Aさんからの相談... 「自分でお風呂に入れなくなり、ケアマネさんの勧めでデイケアのお風呂を利用しましたが、いざ利用してみたら、お風呂のお湯を一人ずつ入れ替えてくれないことがわかり、やめました。今は狭くて寒いですが、ヘルパーさんに自宅へ来てもらつてお風呂に入っています」

Bさんからの相談... 「私は、国民年金で〇〇円です。できるだけ今の生活を続け、自宅で過ごしたいです。でも自分で生活できない時がきたら、子どももいないので、人生の最期は施設を考えていますが、入れる施設はあるのでしょうか?」



ACP (Advance Care Planning)

将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、本人を主体に、そのご家族や近い人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援するプロセスのこと。

T子... 「尊厳や自己決定を阻むものが何なのか?」をこのシリーズで考えさせられました。

T&T子... ACPの連載は、いったん終わりますが、地域包括ケアシステムについては、もっと話し合っていきたいですね。医療や介護の問題は、地域の実情に照らしながらみなさんと話し合っ

て学んでいき、「自分が何を大切にしたいのか」に生きていきたいのを実現できないとね。また、健康友の会の皆さんやこの紙面で意見を交換していきたくです。

T子&Tigra

「みんなで描こう タバコのない健康な街へ」

入賞作品紹介 ①



・オーディエンス賞  
・摂野マノクチ大学賞



物種 佑佳さん

〈絵画〉  
「人生の1ページにもタバコはいらない!!」  
人の人生を本に例え、タバコの登場するページ・しないページを描き分けました。

審査員のコメント  
絵本をめくった1ページの中でタバコによる悪影響と、その後の明るい世界が物語のようにまとまった構成が面白く、構図にメリハリもあり、色彩も鮮やかで非常に良かったと思います。



・近畿中央呼吸器センター賞  
・耳原総合病院 健診センター長賞



林 小優芽さん

〈絵画〉「私たちとタバコ」  
タバコが自身に与える害や、タバコのポイ捨てなどによって起こされる事故などについて、喫煙者の人にも、非喫煙者の人にも、今一度考えてもらいたくて描きました。

審査員のコメント  
・タバコは肺気腫などの肺の病気を引き起こすことが、リアルに表現されています。肺だけでなく、タバコが引き起こす真っ黒な未来が暗示されています。  
・イラストがとても分かりやすい。今後の将来を担う世代の作品は、大変インパクトがあります。

理事会報告

1月理事会 (概要)

開催日時... 1月26日(木) 午後6時~8時5分

出席... 理事 26名  
監事 3名

◆報告 (主な内容)

- ・拡大常任理事会、各種委員会概要
- ・健康友の会みみはら、社保・平和のとりくみ
- ・無料低額診療の各事業所実績
- ・2022年12月度決算概要および2022年度第3四半期決算概要
- ・新型コロナウイルス感染症の対応について
- ・鳳エリア建替えの進捗報告および土地購入の報告
- ◆協議確認事項
- ・ケアマネジャー拘束手当見直しについて提案し、承認された
- ・無料低額診療規程の改定を提案し、承認された

「研修医育成」に皆さまの「声」を

右のQRコードからアンケートへのご協力をお願いします。(耳原総合病院研修委員会)

